

くら・ぴあ通信

令和2年10月号(第26号)

社会福祉法人 ひとほ福祉会

指定通所支援事業所

くらむぼん(0826)42-2188

ぴあ・くらぶ(0826)42-1144



コロナウイルス流行でバタバタと新年度が始まってから、早半年…。長雨の梅雨に、暑すぎる夏も過ぎ、あっという間にもう10月です。昼間は秋晴れが気持ちよく過ごしやすくなりましたが、朝晩は冷え込み、寒いほどになりました。気温の変化に体調を崩さないように、日々を過ごしていきましょう。



ぴあ・くらぶの日々

毎週金曜日のスマイルは、明るく元気いっぱいのよつばグループの活動日です。どんな活動も楽しく参加ができますが…初めての活動や、苦手なことに挑戦するときは、やっぱり少しドキドキします。それは、みなさんも経験したことがあるドキドキではないでしょうか。

Sくんは、準備体操に取り入れている『もしかめ体操』が少し苦手です。以前は一緒に参加ができていましたが、ある時から皆と一緒ににはできなくなり、隣の部屋で体操をしたり、見学をしたりするようになりました。

『こんな風にやりたい』と『うまくいかない』理想と現実の壁に悩んでしまうことが大人にもありますよね。Sくんも『思うようにできなかった』理想と現実の壁の大きさに不安を感じていたのかもしれませんが。隣の部屋で体操をすることも、見学をすることも、体操への参加です。

次の週の活動日、Sくんは不安そうな顔をしながらも、みんなと一緒に体操に参加ができて、体操の後は、素敵な笑顔に！Sくんの成長が見られた体操の時間でした。



☆活動の様子☆

くらむぼん

今年度初の土曜開所日、手作りのお祭りをしました。毎週金曜日の造形活動の時間を使って看板づくりをし、「どんなお祭りになるかな〜?」と期待を膨らませていました。

ところが当日はまさかの雨模様…急ぎょ玄関前の駐車場にテントを張り、規模を縮小して開催することに。朝はみんなで会場づくりをし、昼食はお祭りらしく焼きそばにフライドポテト。ヨーヨー釣りやスーパーボールすくいを楽しむ子どもたちの姿をみて、当たり前の日常の大切さを改めて感じました。

ぴあ・くらぶ

キッズは毎週水曜日の放課後におやつづくりをしています。今月のテーマは『おはぎ』でした。

「きなこ」・「あんこ」・「ずんだ」・「ごま」…毎週違う味のおはぎをつくりました。

ずんだは枝豆の皮をむいてすりつぶすところから作りました。完成した色鮮やかなおはぎに「えー、これが『ずんだ』のおはぎ?」といいながらも、食べると「おいしい!」「もっとたべたいなあ…」みんなで作ったおはぎは格別!食欲の秋を楽しんでいます。

